

研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム

産学共同(育成型) 事後評価結果

体系的課題番号	: JPMJTR20U6
採 択 年 度	: 2020 年度
分 野	: アグリ・バイオ
研究開発課題名	: GMD による迅速・低コストな汎用高生産変異株スクリーニング技術の開発
プロジェクトリーダー 研究責任者	: 町田 雅之(金沢工業大学)

評価結果の総合所見

本課題は、ゲルマイクロドロップ(GMD)とフローサイトメトリー技術を基盤として、微生物による物質生産に向けて低コスト・高速なスクリーニング技術の開発を目指すものである。

概ね目標を達成し、企業との共同研究も進んでおり、次の研究開発フェーズ移行に必要な成果が得られた。

GMD とフローサイトメトリー技術に加え、レポーター株を用いることで、GMD 内での化合物の定量検出法を確立できた。これにより、微生物による有用分泌物質生産性の高い株を非組み換えで高速にスクリーニングできるようになり、概ね目標は達成した。

産学共同体制の構築に関して、企業との共同研究にも発展しつつあるなど、社会実装に向けて順調に進捗しており評価できる。

以上